

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
1	浪速	大木	373	「わほん」という言葉を冒頭の文に入れるのが最適かどうか。「きっかけ」の「き」など無声化の見逃しがあります。「2月」で文が終わったのかな？ちょっと違和感がありました。「…から…になりました」まで一息で言えると思います。「本校」は放送には使いにくい言葉だと思います。やはり対外的に伝えている印象がぬぐえませんでした。 課題。大きな意味の切れ目ではない箇所、長いポーズやプレスがありました。「このうち…ことから」まででひとまとまりです。「させる」など滑舌が不十分でした。助詞の「を」は「お」と発音します。	前半、早口になることあり。インタビューと会話と地の文のメリハリあり。声がきれい。興味が持てる内容。ダ行、ラ行、サ行に注意。「和本」が聞こえない。読みにクセがある。知りたい情報に届いていない感じ。意味のかけりと音の高低を工夫しよう。もっと地声で。伝えたいポイントは何か。浮いた感があるので、文末はもっと落として。間の取り方は悪くないが、スピードがやや早い。少し、思い入れが強すぎたかも？	高低差少なめ。「福祉」の無声化。ぶつ切り感あり。数字の読み方に注意。
2	相愛	上田	6位	2番のアクセントが不鮮明。「日本一」だけ高いのは違和感がある。「普通」の「ふ」など、無声化の見逃しがあります。上がったような声になってしまうのを、これから1週間改善してください。 課題。「大阪府教育庁」など、無声化の見逃しが耳障りでした。声の出方は、課題文のほうが安定していたと思います。大事な言葉を目立たせる手法を、何種類か使えるようにしてほしいです。	「はないけ〜」が聞き取りにくい。声がうわずって聞こえるところあり。立てる箇所が多いので、一番大事なところが聞こえにくい。早いため、聞き手が置いていかれている。よく取材されている。文末にややまとつとところあり。幅のある声。文末を落として。キーワードを立てようとしている。意味を固めては話そうとしている。早い。「はないけバトル」という言葉を大切に。文末のおちつきもやや不足。	全体の緩急を考えて。テンポが単調に聞こえるところがある。
3	桃山学院	杉原	371	3番のアクセントは平板が望ましい。競技かるた部のプロフィールの紹介が長く感じます。校内の仲間たちに伝える新しい情報が無い状態で伝えているのかな？今を伝える具体的な情報を増やしたいです。「とのことです」はニュース文にはなじまないと思います。「を」は「お」と発音します。全国大会に向けて何をしているのかな？部活の様子が見えてきませんでした。 課題。「いわゆる」の前のプレスが、のんびりと長すぎでした。「大阪府が去年」ではないと思います。音域を広く使った積極的なしゃべりができているのは良いと思います。不用意に低く入ってしまう箇所が複数ありました。	「競技かるた部」が聞き取りにくい、響かない。人の名前が聞き取りにくい。ややうねりがある。日本語として不自然な箇所がある。締めの言葉をもう少し工夫して。番号のアクセント。キーワードをたてようとしている。アクセント。無声化。意味の固まりで切るところを工夫して。ヘッドボイスでしゃくり感あり。引用が長い。音が必要以上に上下する。力が抜けたところはよく読んでいる。	文末が早い。やや慌てている感じ。固有名詞しっかり。聞きやすい。
4	四天	酒井	374	1文目、「…には…があります」というのは、ニュースのリード文としては少し物足りないですね。なぜ今その話をする必要があるのかわかるリード文にしたい。声は良いけれど、発音が横開きになっている部分が残念でした。コンテストと宗教…難しい問題ですね。 課題。プレスの直前の助詞が強すぎたり伸びたりしています。sevaに聞こえました。自校ニュースと比べて速度が上がりすぎだと感じました。吹かれに注意。	助詞が伸びている。大僧正のどこがすごいのか、もう少し知りたい。大事なところがたっていない。ニュースとしての新鮮さに欠ける。落ち着いた読み。早い。終わり方を工夫。コメントを具体的に。アクセント辞典を調べていますか？「～には」？「～に」？声の調子はもう少し坦々とした方がよい。生徒に伝えたい内容はラストはもう少しさらっと読んでよい。	全体的に早い。慌てていて、内容が伝わりにくい。内容に応じたテンポで。スピードが早い。
5	府箕面	安井	1位	「ダンスで応援」が、やかましくなりました。「目に留まる」で最低音まで下がってしまいました。「そんな」がかわいらしすぎる。「短く」は「じ」だけを高く。「そんな」に違和感があります。てまえの「」とつながっていないように感じます。 課題。「つなげよう」とのあとのほうが長いポーズになるはずです。吹かれに注意。文末以外の箇所でも最低音まで下がっています。「半数以上」のあとのポーズが長すぎ。「今回の」が張り切りすぎ。	声に表情がある。「チア」が最初に出てくるときに、何のことがかわからない。文末が暗い。落ち着いた読みで、表現に工夫が見られる。文末がやや聞こえづらい。内容が面白い。動画を見てほしいのであれば、締めの文に工夫が必要。口が横に広がり、母音のあやしいところあり。意味のかたまりを考えて喋っている。冒頭のSNSが響かない。声に表情をつけすぎている？音がつぶれた感じのところがある。コメントはもう少しフラットに読んでよい。	急に下がる箇所が気になる。テンションの違いが良い。やや早い。聞きやすいテンポで読めている。低音部をもっといかにして。間の取り方や意味のつかみ方が上手。
6	宣真	多田	360	「ころんとかわいい」のあたり、自然な話し言葉になっていませんでした。「偶然見つけた…」を低くしなくていいと思います。マイクとの距離がぶれてしまったかな？「味だけでなく」は無くてもいいと思います。何の専門学校？聞いて分かる言葉にしましょう。 課題。「子供たち」が文末のようになりました。「めぐっては」など、重要ではない言葉のアクセントが残りすぎている箇所があります。「学校や福祉」が並列になっていませんでした。	文末が幼い。話し言葉になっていない。イントネーションに注意。30人以上お菓子を配って大丈夫なのか気になる。キーワードを立てている。聞きやすい情報として入ってくる。うねった感じ。人名は丁寧な。「セーカ」を丁寧に。音が上下しすぎる。意味のかたまりを意識して。	大事なところがたっていない。ふわふわしたイントネーション。意味のかたまりや並列をとらえて。もう少し力を抜いて。

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
7	相愛	橋口	4位	フルネームは丁寧。 「大学院で」のあとにプレスがあっても良かったと思います。「大学院に」が普通だと思います。「続くこと」など、無声化の見逃しがあります。最後の2文は、もうちょっと具体的な情報に更新できると思います。 課題。「スクールソーシャルワーカー」だけ急に張り切ってしまいました。「教育長」の無声化をやらないと、かなり違和感があります。イントネーションは安定していたと思います。	ムカデの話が急に出てきた。聴覚の話も急。落ち着いた読み。なぜムカデが好きなのか気になる。しゃくっている。最後の文の工夫を。テンポのつけ方に工夫を。人名をもっと大切に。伝えたいことは何？落ち着いた話し方が好印象。	大事なところがたっていない。やや早い。間の工夫を。一本調子に聞こえる。
8	大谷	山田	358	今は6月ですが、去年の秋の成果を伝えるためのニュースなのかな？人数は「ふたり」と数えます。「思ったそうです」のような伝聞は、不用意に使わない。自然なイントネーションが身に着いていません。今回の結果？全国大会に向けて、今どんなことをしているのか、それをニュースにしてほしいからです。 課題。「増員する」を立て直したのは良かった。ニュースをラジオで聞いたことが無かったのかな？肩書が低くて名前が高いのはおかしいです。	うねっている。早い。大事なところを絞って原稿を作成した方がよい。不自然な発声。しゃくりが多々あり。伝聞でなくてもよい。賞をもらったことより、それに至る取り組みを具体的に。終わりの文に工夫を。人名を丁寧に。読むスピードに幅をもたせて。	早い。どこが大事なかわかりにくい。文末あわてている印象。早い。緩急に工夫がほしい。
9	プール	栗飯原	2位	主役の名前の読み方が、難しかったですね。「しかく」は同音異義語が多いから、音だけで伝えるのは厳しいですね。「教室」の「し」は無声化。具体例は、良いものが見つかりましたね。「の資格を取る」は無くてもいいかもしれません。 課題。「いわゆる」など、普段使わない言葉の発音に、ぎこちなさが残りました。「1300人」を素直に言いたかった。「方針を」など、「ん」が十分に発音できない箇所がありました。	ニュースとして面白い。興味もてる内容で続編が聞きたくなる。意味の伝わる読み。ただの脱線かとおもいきや、力加減の計算というのは興味深い。リスナーに伝えようとする努力がみられる。意味のかたまりや高低差に気をつけて。文頭が低く出すぎる箇所があり。読むというより、話そうという意志が感じられた。	内容が伝わってくる。落ち着いた読み。
10	四天東	藤井	372	助詞が伸びないように注意。アーティストスティックスイミングの説明が長くなると、今回の戦いぶりを具体的に伝える時間が無くなります。昔話は無くてもいいと思います。せっかく、終わったばかりの大会のことを伝えようとしているんだから。せっかく藤原にしゃべらせるんだったら、ほかに何か無かったの？ 課題。放送部のアナウンサーとしてのしゃべりが、イメージできていないと思います。テレビやラジオを聞いていますか？声が高くて低くてもいいけど、ある程度は覇気をもって話したいです。	文末が聞き取りにくい。落ち着いた。高低差が少なく、全体が暗く聞こえる。「かっこよく」の内容が漠然としている。スポーツニュースとしての明るさが欲しい。間の取り方が良い。難しい言葉が続くのでその説明に時間を取られるが、藤原さんの具体的な努力を聞きたい。声の幅を取った方がよい。リスナーに向かった音が欲しい。声にもう少しハリがほしい。もう少し高音を使って読みに幅を持たせてもよい。	急に入りすぎ。伝えようという工夫がみられる。文末がやや苦しそう。工夫しようということとは伝わるが、文の内容をもっと考えよう。
11	府池田	山下	5位	スポーツの話題としては、もうちょっと歯切れよくしゃべるほうがいいですね。コーチ→審判？難しいなあ。スムーズに試合が進むって、どういうことかな？簡単に納得しないで、山下さん自身が追求してください。コメント引用が、ちょっと長く感じます。 課題。「つなげよう」となど、周辺の言葉が残っています。十分な間を取って、一つ一つの意味のまとまりを責任をもって伝えようとしているのは良いと思いました。「を」は「お」と発音します。	平坦な感じ。校内ニュースらしい。もう少し審判の内容のことを聞きたい。内容が面白い。精神の強さを鍛えるために何をしている？スポーツニュースの明るさがほしい。読んでいる感あり。リスナーに向かって明るく伝えると良かった。落ち着いたアナウンス。もう少し元気よく。導入部に工夫を。落ち着いた、肩に力が入っていない語り口がよい。	スラスラ読んでいるが、内容が伝わってこない。高低差をもう少し広げる。緩急に工夫を。落ち着いた読み。
12	四天	岡崎	入選	12番と言う段階から、かなり横開きでした。「皆さんはありますか」という問いかけが最適かどうか。怒られているように感じると、もう聞いてくれないかもしれません。 「汚い」という主観を交えないほうがいいと思います。有機物が含まれると汚いってわけじゃないよね？もう一度考えてみるための情報は提供しないんですか？ 課題。教育や福祉は並列です。意味のつながりと音の高さが運動してなくて、ニュース読みとしては評価しにくいです。横開きは改善していました。	原稿が面白い。落ち着いた。校内ニュースらしい内容。ラストの一文とあっていない。自然な発声を。研究の内容がよく伝わる。読んでいる感。リスナーに向かって伝えるとよくなる。キーワードより、その後ろが立っているところあり。文末をもっと落として。もっと自然な発声を。文末はしっかり下げて。引用部分をゆっくり読むのはなぜ？頭の入り方が少し芝居がかっているのがもったいない。	落ち着いた。 「福祉」の発音。すなおに読んでいる。スピードは良いが、ポーズの取り方に工夫を。

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 アナウンス部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
13	相愛	中脇	3位	「卒業生の」を踏み台にしないでね。「でした」など、文末の横開きを直して。「基礎」の無声化！コメントの2文目は面白かった。最後の文は検討してください。 課題。「めぐっては」など、周辺の言葉のアクセントが残らないように注意。「ました」が横開き。	ニュースが頭に残らない。前半から最後まで興味をもって聞くことができた。聞き取りやすい発音。内容が面白い。落ち着いた読み。幅のある聞きやすいアナウンス。意味のかたまりを理解して話している。「オーケストラのピオラ奏者」にリズムがついてしまった。エピソードから紹介するポイントがわかりにくい。全体のスピードがよい。	中盤の文が少しツブツブ切れていた。間に工夫が欲しい。あせている感じに聞こえるので、テンポの取り方に幅と工夫を。ポーズの取り方に幅を持たせてほしい。
14	帝塚山	今田	入選	生徒会のアクセントは中高にしましょう。参加し始めたきっかけが平凡なので、言わなくても良かったと思います。「ぐらむ」は要りません。吹かれに注意。「さらにその売り上げは全て」という塊ではないと思います。他に目を向けるきっかけ？ほかに言うべきことは無かったのかな？ 課題。「おおスカ」になっています。「答えた」の「こ」など、無声化できないはずの音が消えています。人数のアクセントが違います。だんだんくたびれてきたのかな？消極的になっていきました。	早口。「生徒会」の言葉が多い。ラスト一文はそれでいいですか？リラクセスした発声を。伝える内容に工夫を。リスナーを意識したアナウンスを。アクセント。少し早く、音がクリアでない。素直に聞ける。文末処理をもう少し丁寧に。音の幅は狭いながらも、音を上手くコントロールしている。	大事なところがたっていない。内容を伝える工夫を。速いが、意味のかたまりはわかりやすい。フレージングに工夫を。アクセントやポーズに工夫が必要。
15	府箕面	福本	入選	面白い語り口なのは良かったんだけど、校内に向けて放送する言葉遣いとしては違和感がある始め方だと思います。吹かれに注意。語尾伸び注意。あきみ？あけみ？音量が不安定です。ラッシュ？ダッシュ？	原稿が面白い。表情あり。少し文末が早口。一番言いたいのは「おぼちゃん」か「みんなのダッシュ」か、焦点を絞った方がわかりやすい。うねりが気になる。「唐揚げダッシュ」の話なのか、麻生さんの話なのか、絞り込んだ方がいい。全体を急ぐのではなく、スピードの変化を工夫して。音の幅のとれる良い声。力を抜いて。サ行で息がぬけている。	内容が伝わってこない。間の工夫を。課題は比較的良かった。息がもたないので、工夫が必要。
16	桃山学院	小西	375	発音が横開きで子供っぽくならないように注意。あれこれ並べて言うんじゃなくて、何か一つのことをクローズアップしてほしい。お話を伺いました」という言葉のとおり、伺った「お話」を伝えることで1分半を乗り切ろうとしているように聞こえました。他に、どんな取材をすべきだったと思う？ 課題。自然なイントネーションが保てませんでした。Shiの発音が英語っぽくならないように注意。	わかりやすい読み方。校内ニュースとして共感しやすい。リード文に工夫を。インタビュー部分はもう少し削ってよいのでは。「山口さんに話を聞きました」の一行より、情報を入れるとよい。各音を一度丁寧に出す練習をしてほしい。全体に意味のかたまりを意識し、音の上げ下げを調整してほしい。	長い文の処理に工夫を。内容を伝えるためのテンポの工夫を。
17	相愛	岩崎	374	「生徒の成長を57年間見守り続けた体育館」のほうが自然だったかな。吹かれに注意。「古くて暑くて」の無声化が不十分。「東京や」から音量が上がってしまいました。「新しい出会いの場となった」を丁寧にしたかったです。「しかし」は書き言葉だと思います。 課題。「つなげよう」とのあと、「専門家」のあと、同じ長さのポーズになりました。「繁栄」が滑ってしまいました。「はましまやしえきやーじゅ」になってしまいました。	ニュースの内容に理解が不足？ブチブチ切れているよう。スポットをあてたいのは、どこ？いまいちイメージが湧きにくい。ややうわさつた発音。意味のかたまりを大切に。滑舌。少し早い。第1文をもっと丁寧に。極端に弱くなる文がある。文末をしっかりと下げる。全体に高い声なので、もう少しゆったりしゃべる方が落ち着いた感じになる。	慌てているように聞こえる。内容を伝える工夫を。長い文の工夫が必要。緩急の工夫を。読点「、」の処理。落ち着いた読みだが、うねりが出た。
18	宣真	岡橋	入選	「学校…起きています」まで一息で言えると思います。語尾伸び注意。リュウゼツランの説明が、まだ難しく聞こえます。「同じ株で花は」ではないと思います。2010年は無くてもよかったのでは？「リュウゼツランの」が低くて「成長日記」だけ高いのは違和感があります。 課題。「子供たち」のあとのポーズが長すぎた。「めぐっては」のアクセントが残りすぎ。吹かれに注意。慌てないように気を付けていたのは分かりました。	「コカブ」が聞き取りにくい。増員が「どういん」に聞こえる。「～ラン」がわかりにくい。文末処理を丁寧に。普段の話す気遣いで。説明が少し長い。「もうひと花咲かせる」という表現が面白い。文末をもっと落として。生徒に伝えたいことは何？すなおな発音。所々で語尾が伸びる。	聞き取りやすいが、途切れて聞こえる。伝えたい内容は？意味のかたまりで。文末処理を丁寧に。もう少し前半のような語り口で読んでほしい。